

水稻本田用殺虫殺菌剤

明治パダン[®]オリゼメート[®]粒剤

カルタップ (PRTR・1種).....	4.0%
プロベナゾール	8.0%
鉱物質微粉等.....	88.0%

農林水産省登録 第15583号

毒性 医薬用外劇物 有効年限 4年 包装 3kg × 8袋

●特長

水面施用で、水稻の各種病害虫(いもち病、白葉枯病、コブノメイガ、ニカメイチュウ等)の防除が可能です。

●適用病害虫および使用方法



作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 ニカメイチュウ イネツトムシ コブノメイガ	3~4kg/10a	収穫30日前 まで	2回 以内	散布
		カルタップを含む農薬の 総使用回数		プロベナゾールを含む農薬の 総使用回数	
		6回以内 (種もみ浸漬は1回以内、 床土への混和、育苗箱への処理 及び側条施用は合計1回以内)		2回以内 (移植時までの処理は1回以内)	

(平成28年7月6日現在の登録内容)


●効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて秤量し、使いきる。
- 砂質土及び漏水の大きな水田では使用をさける。
- もみ枯細菌病に対しては効果の不十分な場合があるので、穂いもち病等との同時防除を目的として使用する。
- 湛水状態(湛水深3～5cm)でまきむらのないように均一に散布し、散布後少なくとも4～5日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意し、また散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 蚕に対して長期間毒性があるので散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれがある場合では使用をさける。
- 本剤は予防的に散布した場合に有効である。葉いもち防除の使用適期は、初発の7～10日前であるので、発生予察情報に注意して時期を失ないように散布する。穂いもち防除の使用適期は、出穂の3～4週間前。また、白葉枯病に対しては、移植後なるべく早い時期に使用の方が有効であるので、移植活着後(移植後7～10日)なるべく早く使用する。なお、出穂以降の白葉枯病、もみ枯細菌病に対する使用適期は、出穂3～4週間前。

●安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。使用中に異常を感じた時は、直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので、皮ふに付着しないように注意。皮ふに付いた場合は直ちに石けんで良く洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。  


作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換する。

- 作業時に着用していた衣服等は他とは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 夏期高温時は使用しない。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。
- 移送取扱いは、ていねいに行う。

治 療 法…カルタップにはL-システイン製剤の投与が有効(動物実験で報告)。

魚毒性等…養魚田及び養殖池周辺では使用しない(魚類)。

河川、養殖池等に飛散流入しないよう水管理に注意する(甲殻類、ドジョウ)。

その他の…蚕に長期間毒性があるので、付近に桑園がある所では使用しない。

保 管…密封し、直射日光をさげ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。カギをかける。

盗難・紛失の際は、警察に届け出る。

火災時の…火災時は適切な保護具を着用し、水・消火剤で消火に努める。
措置